

社会工学ワークショップI, II 2015年度実施予定一覧

	担当教員	単位数 (上限)	対象活動名(プロジェクト名)
W1	藤井、有田	2	国際交流ワークショップA (ドイツで実施)
W2	藤井、有田	2	国際交流ワークショップB (日本で実施)
W3	高橋(義)	1	2014年度消費者教育学生セミナー
W4	Y. KANAZAWA	2	Case-based Structural Equation Modeling in Social Science Research
W5	Y. KANAZAWA	2	Intermediate Data Scientist Toolkit Workshop
W6	Y. KANAZAWA	2	Advanced Data Scientist Toolkit Workshop
W7	藤川	2	石岡市の町並みの看板建築等調査
W8	藤川、川本、高原	1	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究A
W9	藤川、川本、高原	1	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究B

ファシリテーター育成プログラム・同プレプログラム 2015年度実施予定一覧(両学位プログラム共通)

	対象科目			担当教員	単位数 (上限)	対象活動名(プロジェクト名)
	FTP	FTP P	FTP (SE)			
F1	○	○		谷口守プログラムリーダー	2	社会人学生向けプロジェクト
F2	○	○		谷口守プログラムリーダー	2	早期修了博士コース向けプロジェクト
F3	○	○	○	吉瀬、繁野、八森、大澤	2	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化する TAプログラム
F4	○	○		吉瀬、山本、繁野、八森、大澤	2	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化する TFプログラム
F5	○	○		藤井、有田	2	国際交流ワークショップA (ドイツで実施)
F6	○	○		藤井、有田	2	国際交流ワークショップB (日本で実施)
F7		○	○	大澤	1	津別まちなか再生プロジェクト
F8		○	○	大澤	1	桜川市まちづくりワークショップ
F9		○	○	大澤	1	高校生によるいわきまちづくりプロジェクト
F10		○	○	大澤	1	日立中小路まちづくりワークショップ
F11		○	○	堤・大澤・吉瀬・繆・繁野・八森・竹原・安藤	1	高大連携プロジェクト「米軍子弟ハイスクール高大連携事業」(教育社会連携推進室事業)
F12	○	○	○	村上・渡辺(俊)	2	都市環境デザインスタジオ
F13		○	○	雨宮・藤井	1	茨城県事業「いばらき子ども大学」におけるワークショップ活動のファシリテート
F14	○			藤川	2	石岡市の町並みの看板建築等調査
F15	○	○		藤井	2	常総市まちづくりワークショップファシリテーター研修
F16	○	○	○	谷口守プログラムリーダー	2	DDP学生向けプロジェクト
F17		○		藤川、川本、高原	1	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究A
F18		○		藤川、川本、高原	1	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究B

TA関連

	対象科目			担当教員	単位数 (上限)	対象活動名(プロジェクト名)
	FTP	FTP P	FTP (SE)			
F21		○	○	岡本、大澤、川島、有田、堤	1	都市計画マスタープラン策定の支援活動
F22		○	○	糸井川、鈴木、谷口(綾)、谷口(守)、吉野	1	マイクロ都市計画立案のための支援活動

F23		○	○	上市	1	社会経済システム情報演習の支援活動
F24		○		高橋(義)	1	地域の幸福度指標策定の支援活動

FTP: 社会工学ファシリテーター育成プログラムI, II

Facilitation Training Program in Policy and Planning Sciences I, II

FTPP: 社会工学ファシリテーター育成プレプログラムI, II, III, IV

Facilitation Training Pre-Program in Policy and Planning Sciences I, II, III, IV

FTP(SE): サービス工学ファシリテーター育成プログラム

Facilitation Training Program in Service Engineering

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成27年 3月20日

担当教員	藤井さやか・有田智一
対象科目	社会工学ワークショップ I (1単位) 社会工学ワークショップ II (1単位)
認定単位数	2 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	国際交流ワークショップ A (ドイツで実施)
実施期間	・事前準備：平成27年5月～7月 ・現地でのWS：平成27年7月18日(日)～平成27年7月25日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月
実施場所	ルール大学ボーフム(ドイツ・ボーフム市)及び周辺現地視察場所
活動内容	本学と研究教育交流協定を締結しているルール大学ボッフム校(ドイツ・ボッフム市)の Uta Hohn 教授とともに、ドイツ・ルール地域の都市における都市・地域再生プロジェクトの現地視察、現場の担当者との討議、ドイツ人等の学生との共同によるワークショップを実施し、国際的文脈の中において都市地域再生政策に係る理解を深化させるとともに、英語によるプレゼンテーション・ファシリテーション能力の向上を目的とする。 ・事前準備：平成27年5月～7月の期間に講義時間10コマ(1単位相当の時間)相当の事前準備 ・現地でのWS：平成27年7月18日(日)～平成27年7月25日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月
活動時間数	30日間(120時間)
参加可能人数	10人程度
説明会日時	平成27年4月7日(木)12:15～13:30 場所：8A301(文系修士棟A棟3階アカデミックラウンジ)
備考	参加費用は全て自己負担 国際交流ワークショップ A(ドイツ現地で実施)及び国際交流ワークショップ B(日本で実施)の双方に参加することを奨励する

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成27年 3月20日

担当教員	藤井さやか・有田智一
対象科目	社会工学ワークショップ I (1単位) 社会工学ワークショップ II (1単位)
認定単位数	2 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	国際交流ワークショップ B (日本で実施)
実施期間	・事前準備：平成27年5月～8月 ・現地でのWS：平成27年8月23日(日)～平成27年8月29日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月
実施場所	筑波大学及び東京大都市圏内における現地視察場所
活動内容	本学と研究教育交流協定を締結しているルール大学ポッフム校(ドイツ・ポッフム市)の Uta Hohn 教授とともに、東京大都市圏内の都市・地域再生プロジェクトの現地視察、現場の担当者との討議、ドイツ人等の学生との共同によるワークショップを実施し、国際的文脈の中において都市地域再生政策に係る理解を深化させるとともに、英語によるプレゼンテーション・ファシリテーション能力の向上を目的とする。 ・事前準備：平成27年5月～8月の期間に講義時間10コマ(1単位相当の時間)相当の事前準備、現地視察対応プロジェクト ・現地でのWS：平成27年8月23日(日)～平成27年8月29日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月
活動時間数	30日間(120時間)
参加可能人数	10人程度
説明会日時	平成27年4月7日(木)12:15～13:30 場所：8A301(文系修士棟A棟3階アカデミックラウンジ)
備考	参加費用は全て自己負担 訪問先は東京大都市圏の自治体等(2013年度実績、東京都、臨海部副都心、川崎市、横浜市、渋谷駅周辺(東急電鉄)、大手町・丸の内・有楽町周辺(三菱地所)、墨田区、多摩平(UR団地再生)) 国際交流ワークショップ A(ドイツ現地で実施)及び国際交流ワークショップ B(日本で実施)の双方に参加することを奨励する

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 3 月 24 日

担当教員	高橋義明
対象科目	社会工学ワークショップ I (1 単位) 社会工学ワークショップ II (1 単位)
認定単位数	1 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	2014 年度消費者教育学生セミナー
実施期間	平成 27 年 8 月 17 日 (月) ~ 平成 27 年 9 月 30 日 (水)
実施場所	独立行政法人国民生活センター (神奈川県相模原市)
活動内容	日本消費者教育学会、独立行政法人国民生活センターが毎年開催している消費者教育学生セミナーに参加し、演習、グループディスカッション及びプレゼンテーションに参加し、研究能力の向上を目指す。 8 月 17 日~9 月 2 日 参加準備 (2 日) 9 月 3~4 日 セミナー参加 (1 泊 2 日) 9 月 30 日まで セミナー参加に対する評価などレポート作成 (2 日)
活動時間数	6 日間 ( 45 時間)
参加可能人数	4 人
説明会日時	平成 27 年 6 月 16 日 (火) 18:15 ~ 18:30 場所: 3B401
備考	・セミナーは 1 泊 2 日の宿泊研修。宿泊費がかかる (受講料は無料) が、助成制度活用を検討。 ・ 昨年の開催要領は下記参照。 <a href="http://www.consumer-education.jp/2014GS/">http://www.consumer-education.jp/2014GS/</a>

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 3 月 28 日

担当教員	Prof. Yuichiro KANAZAWA, Ph.D. in Statistics
対象科目	社会工学ワークショップⅠ(1 単位) 社会工学ワークショップⅡ(1 単位)
認定単位数	2 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	Case-based Structural Equation Modeling in Social Science Research
実施期間	平成 27 年 7 月 6 日 (月) ~ 平成 27 年 12 月
実施場所	Either computer room or regular class room to be announced
活動内容	This is a hands-on case-based intensive research level workshop for social-science graduate students. The workshop will cover both the basic principles and practical applications of structural equation modeling techniques using PRELIS and LISREL. A short lectures followed by hands on case-based problem solving computational practices, are followed by a peer-to-peer discussion session that helps develop critical thinking and logical reasoning skills throughout. Participants are asked to set aside a full week for this intensive session during the second week of July. The rest of the session will be arranged according to mutually agreed-upon schedule.
活動時間数	30 days(120 hours)
参加可能人数	Up to 10 人
説明会日時	平成 27 年 7 月 6 日 (月) 8:40~11:25 場所: To be announced.
備考	This workshop is designed for those who are/will be conducting a serious research in organizational behavior or psychometrics, but anyone interested in social science research is welcome. It emphasizes not only technical prowess, but independent and critical thinking. Similar workshops were held during summers in 2008 and 2011. Lecture and the practice sessions are given in English (and in Japanese if necessary), but the class note is/will be in English. For those wishing to attend this workshop, please contact me at your earliest convenience at <a href="mailto:kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp">kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp</a> .

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 3 月 28 日

担当教員	Prof. Yuichiro KANAZAWA, Ph.D. in Statistics
対象科目	社会工学ワークショップⅠ(1単位) 社会工学ワークショップⅡ(1単位)
認定単位数	2単位
対象活動名 (プロジェクト名)	Intermediate Data Scientist Toolkit Workshop
実施期間	平成 27 年 4 月 14 日(火) ~ 平成 27 年 7 月 1 日(水)
実施場所	To be announced. It depends on the number of students.
活動内容	McKinsey Global Institute estimates that by 2018, “the United States alone could face a shortage of 1.5 million managers and analysts with the know-how to use the analysis of big data to make effective decisions.” How can we contribute to society in a meaningful way, then? A systematic understanding of the mathematical and computational statistical inference is the first step. Thus we cover methods of estimation, Bayesian analysis, and Markov chain Monte Carlo samplers including Metropolis Hasting algorithm, and Gibbs sampler. Students are asked to solve problems, writing and implementing R code, and present those in class in English. This workshop is designed so students can actively learn with employed coached problem solving method whereby the instructor monitors group progress and offers just-in-time coaching at each stage of the problem solving process.
活動時間数	24 日間(120 時間)
参加可能人数	Up to 10 人
説明会日時	平成 27 年 4 月 14 日 (火) 8:40~11:25 場所 : 3F436
備考	This is a class designed for those who are/will be conducting research with data scientific implications. Lectures and the practice sessions are given in English (and in Japanese if necessary), but the class note is/will be in English. For those wishing to attend this workshop, please contact me at your earliest convenience at <a href="mailto:kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp">kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp</a> .

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 3 月 28 日

担当教員	Prof. Yuichiro KANAZAWA, Ph.D. in Statistics
対象科目	社会工学ワークショップⅠ(1 単位) 社会工学ワークショップⅡ(1 単位)
認定単位数	2 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	Advanced Data Scientist Toolkit Workshop
実施期間	平成 27 年 10 月 1 日(木) ~ 平成 27 年 12 月 28 日(月)
実施場所	To be announced. It depends on the number of students.
活動内容	In Intermediate Data Scientist Toolkit Workshop, we cover up to Monte Carlo samplers. About 40% of problems involving data science can be solved this way. As for the remaining 60% of problems, often more advanced and realistic, we must resort to large sample theory whose simplest form is asymptotic efficiency of maximum likelihood estimator. We cover materials necessary to systematically reach that minimal goal in a more modern way. So, for example, concept of weak convergence instead of convergence in distribution is utilized. Students are asked to solve problems, writing and implementing R code, and present those in class in English. This workshop is designed so students can actively learn with employed coached problem solving method whereby the instructor monitors group progress and offers just-in-time coaching at each stage of the problem solving process.
活動時間数	24 日間 (120 時間)
参加可能人数	Up to 10 人
説明会日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 8:40~11:25 場所: To be announced.
備考	This is a class designed for those who are/will be conducting research with serious data scientific implications. Lectures and the practice sessions are given in English (and in Japanese if necessary), but the class note is/will be in English. For those wishing to attend this workshop, please contact me at your earliest convenience at <a href="mailto:kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp">kanazawa@sk.tsukuba.ac.jp</a> .



(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 5 月 19 日

担当教員	藤川昌樹
対象科目	社会工学ワークショップ I (1 単位) 社会工学ワークショップ II (1 単位)
認定単位数	2 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	石岡市の町並みの看板建築等調査
実施期間	平成 27 年 6 月 8 日 (月) ~ 平成 27 年 2 月 21 日 (日)
実施場所	石岡市の町並み、江戸東京たてもの園ほか
活動内容	<p>現在、石岡市では古い町並みを活かしたまちづくりを進めている。これをより進展させるため、市内に残る看板建築等の歴史的建造物の調査や修理システムの提案が求められている。</p> <p>6 月中旬頃からの週末と、夏休み中の時間を使い、現地事前視察・関連事例調査・実測練習・現地実測調査・実測図面作成などを行う (WS I)。</p> <p>秋より修理システムの提案のため、他地区でのまちづくりファンド事例等を調査して、最終的にはまちづくりファンド要項作成のための提案を行い、報告書にまとめる (WS II)。調査には週末を使う。</p>
活動時間数	30 日間 ( 120 時間)
参加可能人数	10 人程度
説明会日時	平成 27 年 5 月 28 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通費の補助を行う。</li><li>・古建築や古い町並みについての基礎知識を有しているか、この WS を機会に学ぼうとする強い意思のある人</li></ul>

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 9 月 28 日

担当教員	藤川昌樹、川本雅之、高原勇
対象科目	社会工学ワークショップ I (1 単位) 社会工学ワークショップ II (1 単位)
認定単位数	1 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 A
実施期間	平成 27 年 11 月 1 日 (日) ~ 平成 28 年 2 月 21 日 (日)
実施場所	桜川市真壁町の町並み
活動内容	<p>全国の重要伝統的建造物群保存地区は現在 110 を数えるに至ったが、多くの地区は交通上不便な場所に立地しており、人口減少・高齢化などの持続性に関わる問題も抱えている。</p> <p>本 WS では、個別事例として桜川市真壁町の町並みにおけるモビリティ・マネジメントのあり方について基礎的な調査を行い、実態を把握する。調査には主として週末・冬休みを使う。</p> <p>なお、本 WS はトヨタ自動車と社会工学域との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」の一部をなすものである。</p>
活動時間数	15 日間 (60 時間)
参加可能人数	10 人程度
説明会日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通費は支給する。</li><li>・重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 B を平成 27 年度秋学期から 28 年度春学期にかけて開設し、全国の重要伝統的建造物群保存地区を対象として比較検討を実施するが、本研究 A のみの受講も可能 (同研究 B のみの受講は原則不可)。</li></ul>

(様式 FW-1)

## ワークショップ関連科目 計画書

平成 27 年 9 月 28 日

担当教員	藤川昌樹、川本雅之、高原勇
対象科目	社会工学ワークショップ I (1 単位) 社会工学ワークショップ II (1 単位)
認定単位数	1 単位
対象活動名 (プロジェクト名)	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 B
実施期間	平成 28 年 2 月 22 日 (月) ~ 平成 28 年 6 月 30 日 (木)
実施場所	全国の重要伝統的建造物群保存地区、桜川市の町並み
活動内容	<p>全国の重要伝統的建造物群保存地区は現在 110 を数えるに至ったが、多くの地区は交通上不便な場所に立地しており、人口減少・高齢化などの持続性に関わる問題も抱えている。</p> <p>本 WS では、全国の重要伝統的建造物群保存地区のモビリティの実態を、現地調査を行いつつ、桜川市真壁町の町並みと比較検討する。最終的には桜川市真壁町に関する調査結果・提言とともに報告書にまとめる。調査には主として週末・春休みを使う。</p> <p>なお、本 WS はトヨタ自動車と社会工学域との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」の一部をなすものである。</p>
活動時間数	15 日間 (60 時間)
参加可能人数	10 人程度
説明会日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通費は支給する。</li><li>・原則として、平成 27 年度秋学期に開講する同研究 A を受講していることを受講の条件とする。</li></ul>

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 13 日

担 当 教 員	谷口守プログラムリーダー	
対 象 科 目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	2 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	社会人学生向けプロジェクト	
実 施 期 間	平成 27 年 5 月 1 日 (金) ~ 平成 28 年 1 月 29 日 (金)	
実 施 場 所		
活 動 内 容	有職者である学生が、自身の職場と社会工学との橋渡しを意識したファシリテーターとしての活動を行い、ファシリテーターの能力向上を図る。なお、2015 年度内の活動のみが評価対象となる。	
活 動 時 間 数	30 日間 ( 1 2 0 時間)	
参 加 可 能 人 数	若干名	
説 明 会 日 時	平成 年 月 日 ( ) : ~ : 場所 :	
備 考	有職者のみ可 希望者は指導教員に相談のこと。	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 13 日

担当教員	谷口守プログラムリーダー	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	早期修了博士コース向けプロジェクト	
実施期間	平成 27 年 5 月 1 日 (金) ~ 平成 27 年 8 月 7 日 (金)	
実施場所		
活動内容	早期修了博士コースに在籍の学生が、社会人としてファシリテーターの能力向上を意識した活動を行い、達成を確認すると共に自身の問題点や改善点をみつける。	
活動時間数	30 日間 ( 120 時間)	
参加可能人数	若干名	
説明会日時	平成 年 月 日 ( ) : ~ : 場所 :	
備考	早期修了博士コースに在籍の学生のみ可 希望者は指導教員に相談のこと。	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 13 日

担当教員	吉瀬章子, 繁野麻衣子, 八森正泰, 大澤義明,	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化する TAプログラム	
実施期間	平成 27 年 7 月 21 日 (火) ~ 平成 27 年 11 月 8 日 (日)	
実施場所	筑波大学, 筑波山ふれあいの里, 連携先高校	
活動内容	高校生が問題発見した最適化問題に対して, 最適化ソルバーを利用して問題解決に導き, 社会で役立つ数学を教授する. <ul style="list-style-type: none"><li>7 月下旬: 高校生の提示する課題の検討</li><li>8 月 9-11 日: 筑波大学の合宿にて, 定式化, ソルバーの利用, 発表資料作成などの指導</li><li>合宿後~11 月: 高校生からの質問に対応. 必要に応じて高校に出向き指導.</li><li>11 月: 最終発表の指導</li></ul>	
活動時間数	15 日間 ( 100 時間)	
参加可能人数	12 人	
説明会日時	平成 27 年 6 月 30 日 (火) 18:00 ~ 19:00 場所: 3C201	
備考	プロジェクト実施前までに, 最適化に対する基礎知識とソルバー Xpress を独習し, 指導できるようになっていること.	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 13 日

担当教員	吉瀬章子, 山本芳嗣, 繁野麻衣子, 八森正泰, 大澤義明,	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化する TFプログラム (TAの総括)	
実施期間	平成 27 年 7 月 20 日 (火) ~ 平成 27 年 11 月 8 日 (日)	
実施場所	筑波大学, 筑波山ふれあいの里, 連携先高校	
活動内容	高大連携プロジェクト 地域の問題を最適化する TAプログラムの TAの総括として、各チームの進捗を管理すると共に、合宿・発表会 の準備・進行を指揮する <ul style="list-style-type: none"><li>7月下旬: 各チームの課題内容の検討、アドバイス、検討会の準備</li><li>8月9-11日: 筑波大学の合宿での各チームの進捗の管理、会計、 総務</li><li>合宿後~11月: 各チームの進捗の確認、旅費等申請書類の確認</li><li>11月: 各チームの進捗の管理、最終発表の構成、概要の説明</li></ul>	
活動時間数	20 日間 ( 120 時間)	
参加可能人数	2 人	
説明会日時	平成 27 年 6 月 30 日 (火) 18:00 ~ 19:00 場所: 3C201	
備考	最適化とソルバーXpress に関してTAを指導できる能力を有している こと。 博士後期課程の学生に限る	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成27年3月20日

担当教員	藤井さやか・有田智一	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	国際交流ワークショップ A (ドイツで実施)	
実施期間	・事前準備：平成27年5月～7月 ・現地でのWS：平成27年7月18日(日)～平成27年7月25日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月	
実施場所	ルール大学ボーフム(ドイツ・ボーフム市)及び周辺現地視察場所	
活動内容	本学と研究教育交流協定を締結しているルール大学ボッフム校(ドイツ・ボッフム市)の Uta Hohn 教授とともに、ドイツ・ルール地域の都市における都市・地域再生プロジェクトの現地視察、現場の担当者との討議、ドイツ人等の学生との共同によるワークショップを実施し、国際的文脈の中において都市地域再生政策に係る理解を深化させるとともに、英語によるプレゼンテーション・ファシリテーション能力の向上を目的とする。 ・事前準備：平成27年5月～7月の期間に講義時間10コマ(1単位相当の時間)相当の事前準備 ・現地でのWS：平成27年7月18日(日)～平成27年7月25日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月	
活動時間数	30日間(120時間)	
参加可能人数	10人程度	
説明会日時	平成27年4月7日(木)12:15～13:30 場所：8A301(文系修士棟A棟3階アカデミックラウンジ)	
備考	参加費用は全て自己負担 国際交流ワークショップ A (ドイツ現地で実施)及び国際交流ワークショップ B (日本で実施)の双方に参加することを奨励する	



(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成27年3月20日

担当教員	藤井さやか・有田智一	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	国際交流ワークショップ B (日本で実施)	
実施期間	・事前準備：平成27年5月～8月 ・現地でのWS：平成27年8月23日(日)～平成27年8月29日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月	
実施場所	筑波大学及び東京大都市圏内における現地視察場所(数か所)	
活動内容	本学と研究教育交流協定を締結しているルール大学ポッフム校(ドイツ・ポッフム市)の Uta Hohn 教授とともに、東京大都市圏内の都市・地域再生プロジェクトの現地視察、現場の担当者との討議、ドイツ人等の学生との共同によるワークショップを実施し、国際的文脈の中において都市地域再生政策に係る理解を深化させるとともに、英語によるプレゼンテーション・ファシリテーション能力の向上を目的とする。 ・事前準備：平成27年5月～8月の期間に講義時間10コマ(1単位相当の時間)相当の事前準備、現地視察対応プロジェクト ・現地でのWS：平成27年8月23日(日)～平成27年8月29日(土) ・活動報告書作成(全員・120ページ相当)：平成27年9月～12月	
活動時間数	30日間(120時間)	
参加可能人数	10人程度	
説明会日時	平成27年4月7日(木)12:15～13:30 場所：8A301(文系修士棟A棟3階アカデミックラウンジ)	
備考	参加費用は全て自己負担 訪問先は東京大都市圏の自治体等(2013年度実績、東京都、臨海部副都心、川崎市、横浜市、渋谷駅周辺(東急電鉄)、大手町・丸の内・有楽町周辺(三菱地所)、墨田区、多摩平(UR団地再生)) 国際交流ワークショップ A(ドイツ現地で実施)及び国際交流ワークショップ B(日本で実施)の双方に参加することを奨励する	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 25 日

担当教員	大澤 義明	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	津別まちなか再生プロジェクト	
実施期間	平成 27 年 8 月 22 日 (土) ~ 平成 27 年 8 月 25 日 (火) (未定)	
実施場所	津別町役場 (北海道網走郡)	
活動内容	高校生や地元住民 (農協職員・市職員等) が参加するまちなか居住まちづくりワークショップにおいて、ファシリテーターとして活動する。延べ 4 日間の予定。	
活動時間数	4 日間 ( 時間)	
参加可能人数	2 人	
説明会日時	平成 27 年 5 月 12 日 (火) 18:00 ~19:00 場所: 3F1036	
備考	・能動的に活動できる方 ・都市計画の基礎学力を有している方 ・旅費支給	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 25 日

担当教員	大澤 義明	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	桜川市まちづくりワークショップ	
実施期間	平成 年 月 日 ( ) ~平成 年 月 日 ( ) (未定)	
実施場所	つくば秀英高校 (つくば市) および桜川市役所 (茨城県桜川市)	
活動内容	つくば秀英高校生 21 名が参加する桜川市地域版総合戦略 (高校生バージョン) を作成するために、まちづくりワークショップにおいてファシリテーターとして活動する。延べ 5 日間の予定。	
活動時間数	5 日間 ( 時間)	
参加可能人数	2 人	
説明会日時	平成 27 年 5 月 12 日 (火) 18:00 ~19:00 場所: 3F1036	
備考	・能動的に活動できる方 ・社会工学の基礎学力を有している方 ・謝金支給	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 25 日

担 当 教 員	大澤 義明	
対 象 科 目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	1 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	高校生によるいわきまちづくりプロジェクト	
実 施 期 間	平成 27 年 8 月 8 日 (土) ~平成 27 年 8 月 10 日 (月) (未定)	
実 施 場 所	いわき市 LATOV (福島県)	
活 動 内 容	高校生 (磐城高校・磐城桜ヶ丘高校・福島高専) が参加するまちづくりワークショップにおいて、ファシリテーターとして活動する。事前説明会 (1 日), ワークショップ (3 日), 発表会 (2 日) の予定。	
活 動 時 間 数	6 日間 ( 時間)	
参 加 可 能 人 数	5 人	
説 明 会 日 時	平成 27 年 5 月 12 日 (火) 18:00 ~19:00 場所: 3F1036	
備 考	・能動的に活動できる方 ・都市計画の基礎学力を有している方 ・旅費支給	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 25 日

担 当 教 員	大澤 義明	
対 象 科 目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	1 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	日立中小路まちづくりワークショップ	
実 施 期 間	平成 年 月 日 ( ) ~平成 年 月 日 ( ) (未定)	
実 施 場 所	日立市中小路コミュニティセンター (茨城県)	
活 動 内 容	地元住民が参加するまちづくりワークショップにおいて ファシリテーターとして活動する。10 月~12 月の土日, 半日 3 日間で 実施する。	
活 動 時 間 数	3 日間 (12 時間)	
参 加 可 能 人 数	2 人	
説 明 会 日 時	平成 27 年 5 月 12 日 (火) 18:00 ~19:00 場所: 3F1036	
備 考	・能動的に活動できる方 ・社会工学の基礎学力を有している方 ・旅費支給	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成27年3月24日

担当教員	堤・大澤・吉瀬・繆・繁野・八森・竹原・安藤	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1単位)
認定単位数	単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	高大連携プロジェクト「米軍子弟ハイスクール高大連携事業」 (教育社会連携推進室事業)	
実施期間	平成27年9月7日(月) ~ 平成27年9月11日(金)	
実施場所	筑波大学	
活動内容	太平洋地区米軍基地(横田, 座間, 横須賀, 岩国, 佐世保, 嘉手納, 宜野湾, グアム, ソウル, 大邱)のハイスクール生徒が, 科学的学力向上のために, 筑波大学において実施している事業において, ファシリテーターとして, 教員による講義・実習の補助をしながら生徒の理解を助ける. さらに, 課題の設定や解法に関してアイデアを引き出すとともに, 成果のプレゼンテーションを指導する.	
活動時間数	6日間(48時間)(準備1日を含む)	
参加可能人数	6~8人	
説明会日時	平成27年7月頃予定	場所未定
備考		

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 1 日

担当教員	村上 暁信, 渡辺 俊	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	都市環境デザインスタジオ	
実施期間	平成 27 年 10 月 日 ( ) ~ 平成 28 年 1 月 日 ( )	
実施場所	UDCK (アーバン・デザイン・センター・柏の葉)	
活動内容	つくばエクスプレス沿線『柏の葉地区』を対象に、地区スケールのデザインを含む実践的演習を実施する。『柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)』と連携し、東京大学、東京理科大学、千葉大学、筑波大学の沿線大学の共同開催により、市民、自治体、企業との討論や公開講評会を通じ、特色あるスタジオとしての成果を上げつつ、ファシリテーターとしての技能を身につける。	
活動時間数	30 日間 ( 120 時間)	
参加可能人数	3 人	
説明会日時	平成 26 年 10 月 7 日 (火) 場所：UDCK (アーバン・デザイン・センター・柏の葉)	
備考		

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 4 月 2 日

担 当 教 員	雨宮 護・藤井さやか	
対 象 科 目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	1 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	茨城県事業「いばらき子ども大学」におけるワークショップ活動のファシリテート	
実 施 期 間	平成 28 年 2 月 1 日 (木) ~ 平成 28 年 3 月 19 日 (木)	
実 施 場 所	つくば市北条 (予定)	
活 動 内 容	今日のまちづくりには、住民とともに地域の文脈を読み解き、丁寧に合意を形成しながら、将来に向けた提案を行なうことが求められる。本プロジェクトでは、子どもにそうした今日のまちづくりのあり方を、体験を通して伝えるワークショップを企画し、実行する。具体的には、子どもにとって身近な「遊び場」を題材としながら、多様な世代間での対話の機会と、子どもからの提案を導くファシリテーションを実践する。	
活 動 時 間 数	10 日間 ( 60 時間) (予定)	
参 加 可 能 人 数	5 人～10 人程度	
説 明 会 日 時	履修希望者と調整のうえ、決定する。2015 年 11 月頃を予定。 場所： 8A301	
備 考	履修希望者は、 <u>2015 年 10 月末日までに</u> 、雨宮 (amemiya@sk.tsukuba.ac.jp) にメールで連絡をすること。	



(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 5 月 19 日

担当教員	藤川昌樹	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	石岡市の町並みの看板建築等調査	
実施期間	平成 27 年 6 月 8 日 (月) ~ 平成 27 年 2 月 21 日 (日)	
実施場所	石岡市の町並み、江戸東京たてもの園ほか	
活動内容	<p>現在、石岡市では古い町並みを活かしたまちづくりを進めている。これをより進展させるため、市内に残る看板建築等の歴史的建造物の調査や修理システムの提案が求められている。</p> <p>6 月中旬頃からの週末と、夏休み中の時間を使い、現地事前視察・関連事例調査・実測練習・現地実測調査・実測図面作成などを行う (WS I) 院生の活動をファシリテートする。</p> <p>秋より修理システムの提案のため、他地区でのまちづくりファンド事例等を調査して、最終的にはまちづくりファンド要項作成のための提案を行い、報告書にまとめる (WS II) 院生の活動をファシリテートする。。調査には週末を使う。</p>	
活動時間数	30 日間 ( 120 時間)	
参加可能人数	10 人程度	
説明会日時	平成 27 年 5 月 28 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301	
備考	・交通費の補助を行う。 ・古建築や古い町並みについての基礎知識を有しているか、この WS を機会に学ぼうとする強い意思のある人	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成27年9月2日

担当教員	藤井さやか	
対象科目	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1単位)
認定単位数	2 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	常総市まちづくりワークショップファシリテーター研修	
実施期間	・実施期間：平成27年10月～12月 ・現地でのWS：専門家との意見交換と市民ワークショップを予定 ・活動報告書作成：平成27年12月～平成28年1月	
実施場所	常総市及び筑波大学	
活動内容	本プログラムは、サービス工学学位プログラム開講「プレイスメイキング」及び常総市受託研究「大学院講義と連動したワークショップ運営とまちづくり提案」により実施する常総市でのまちづくりワークショップへの参加により、ワークショップの企画・運営を通じた実践的なファシリテーション能力の育成と習得を目的として実施する。 現在、常総市とサービス工学専攻は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検討を進めている。本プログラムでは、総合戦略から重要なトピックを選択して、ワークショップを行い、具体的なまちづくり提案の検討を行う。 受講者は秋 AB 学期火曜 3・4 限の「プレイスメイキング」への出席、受講者との協働によるワークショップ企画、常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略の有識者との意見交換、ワークショップ運営を行う。	
活動時間数	30 日間 ( 30 時間)	
参加可能人数	5 人程度	
説明会日時	平成27年9月30日(水) 15:00～16:00 場所：8A301 (文系修士棟 A 棟 3 階アカデミックラウンジ)	
備考	「プレイスメイキング」を履修するサービス工学学位プログラムの学生は本プログラムの履修をできません。 説明会に参加できない学生は事前に藤井にメール連絡してください。	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 9 月 24 日

担 当 教 員	谷口守プログラムリーダー	
対 象 科 目	■	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	■	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	■	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	2 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	DDP 学生向けプロジェクト	
実 施 期 間	平成 27 年 10 月 1 日 (木) ~ 平成 28 年 2 月 10 日 (水)	
実 施 場 所		
活 動 内 容	DDP 学生が 2 つの専攻で所属する両研究室において研究の幅を広げ橋渡しを意識したファシリテーターとしての活動を行い、研究者としての人材育成能力の向上を図る。	
活 動 時 間 数	30 日間 ( 1 2 0 時間)	
参 加 可 能 人 数	人	
説 明 会 日 時	平成 年 月 日 ( ) : ~ :	
	場所 :	
備 考	DDP (デュアルディグリープログラム) 学生のみ可 希望者は指導教員に相談のこと。	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 9 月 28 日

担当教員	藤川昌樹、川本雅之、高原勇	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 A	
実施期間	平成 27 年 11 月 1 日 (日) ~ 平成 28 年 2 月 21 日 (日)	
実施場所	桜川市真壁町の町並み	
活動内容	<p>全国の重要伝統的建造物群保存地区は現在 110 を数えるに至ったが、多くの地区は交通上不便な場所に立地しており、人口減少・高齢化などの持続性に関わる問題も抱えている。</p> <p>本プログラムでは、個別事例として桜川市真壁町の町並みにおけるモビリティ・マネジメントのあり方について基礎的な調査を行う社会学ワークショップに参加する院生をファシリテートする。調査には主として週末・冬休みを使う。</p> <p>なお、本 WS はトヨタ自動車と社会学域との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」の一部をなすものである</p>	
活動時間数	15 日間 (60 時間)	
参加可能人数	10 人程度	
説明会日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301	
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通費は支給する。</li><li>・重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 B を平成 27 年度秋学期から 28 年度春学期にかけて開設し、全国の重要伝統的建造物群保存地区を対象として比較検討を実施するが、本研究 A のみの受講も可能 (同研究 B のみの受講は原則不可)。</li></ul>	

(様式 FW-2)

## ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 9 月 28 日

担当教員	藤川昌樹、川本雅之、高原勇	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	重要伝統的建造物群保存地区のモビリティ・マネジメント研究 B	
実施期間	平成 28 年 2 月 22 日 (月) ~ 平成 28 年 6 月 30 日 (木)	
実施場所	全国の重要伝統的建造物群保存地区、桜川市の町並み	
活動内容	<p>全国の重要伝統的建造物群保存地区は現在 110 を数えるに至ったが、多くの地区は交通上不便な場所に立地しており、人口減少・高齢化などの持続性に関わる問題も抱えている。</p> <p>本プログラムでは、全国の重要伝統的建造物群保存地区のモビリティの実態を、現地調査を行いつつ、桜川市真壁町の町並みと比較検討する社会工学ワークショップに参加する院生をファシリテートする。調査には主として週末・春休みを使う。</p> <p>なお、本 WS はトヨタ自動車と社会工学域との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」の一部をなすものである</p>	
活動時間数	15 日間 (60 時間)	
参加可能人数	10 人程度	
説明会日時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 18:15 ~ 19:00 場所：文系修士棟 8A301	
備考	・交通費は支給する。 ・原則として、平成 27 年度秋学期に開講する同研究 A を受講していることを受講の条件とする。	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 16 日

担当教員	岡本 直久, 大澤 義明, 川島宏一, 有田 智一, 堤 盛人,	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	都市計画マスタープラン策定の支援活動	
実施期間	平成 27 年 10 月 2 日 (金) ~ 平成 28 年 2 月 12 日 (金)	
実施場所	第三学群 C 棟実習室および社会学類端末室	
活動内容	社会学類開設科目「都市計画マスタープラン実習」において各作業班のメンバー間のコミュニケーション、作業工程設計等の支援を行う。(説明会には必ず出席のこと)	
活動時間数	16 日間 ( 90 時間)	
参加可能人数	8 人	
説明会日時	平成 27 年 7 月 3 日 (金) 18:00 ~ 19:00 場所: 3C403	
備考	上記説明会には必ず出席のこと なお、社会学類都市計画主専攻の学生として当該講義を履修した学生を前提とします。	

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 4 月 1 日

担 当 教 員	糸井川栄一，鈴木勉，谷口綾子，谷口守，吉野邦彦	
対 象 科 目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認 定 単 位 数	1 単位	
対 象 活 動 名 (プロジェクト名)	マイクロ都市計画立案のための支援活動	
実 施 期 間	平成 27 年 4 月 10 日 (金) ~平成 27 年 6 月 30 日 (火)	
実 施 場 所	第三学群 C 棟実習室	
活 動 内 容	社会工学類開設科目「都市計画実習」において TA を務め、各作業班のメンバー間のコミュニケーション、作業工程設計等の支援を行う。	
活 動 時 間 数	20 日間 ( 90 時間)	
参 加 可 能 人 数	5 人	
説 明 会 日 時	平成 27 年 4 月 9 日 (木) 11:25 ~ 12:15 場所 : 3C403	
備 考		

(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 年 月 日

担当教員	上市 秀雄	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1単位)
認定単位数	1単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	社会経済システム情報演習の支援活動	
実施期間	平成 27 年 10 月 1 日 (木) ~ 平成 27 年 12 月 24 日 (木)	
実施場所	3C114	
活動内容	社会工学類開設科目「社会経済システム情報演習」において TA をつとめ、各受講生に対して、課題の立案、データ解析、発表資料作成等の支援を行う。	
活動時間数	15 日間 ( 45 時間)	
参加可能人数	若干名	
説明会日時	10 月 1 日 (木) 11:00~12:00、3F1241	
備考		



(様式 FW-2)

ファシリテーター育成関連科目計画書 計画書

平成 27 年 3 月 24 日

担当教員	高橋義明	
対象科目	<input type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プログラム I (2 単位) 社会工学ファシリテーター育成プログラム II (2 単位)
	<input checked="" type="checkbox"/>	社会工学ファシリテーター育成プレプログラム I (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム II (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム III (1 単位) 社会工学ファシリテーター育成プレプログラム IV (1 単位)
	<input type="checkbox"/>	サービス工学ファシリテーター育成プログラム (1 単位)
認定単位数	1 単位	
対象活動名 (プロジェクト名)	地域の幸福度指標策定の支援活動	
実施期間	平成 27 年 11 月 11 日 (水) ~ 平成 27 年 12 月 28 日 (月)	
実施場所	第三学群 C 棟実習室	
活動内容	社会工学類開設科目「国際・公共システム演習」のグループワークにおいて各班のメンバー間のコミュニケーション、とりまとめ作業等の支援を行う。	
活動時間数	8 日間 ( 45 時間)	
参加可能人数	若干名	
説明会日時	平成 27 年 6 月 16 日 (火) 18:30 ~ 18:45 場所: 3B401	
備考		